

瑞浪市化石博物館 第74回特別展

2010.
10.17~12.26

よみがえる

日本にほんの哺乳類ほにゅうるいたち



アンネクテンスゾウ (ゴンフォテリウム)
瑞浪市からも下あごが産出

ビーバー

ワークショップ
「小さな化石モンスター
を見つけよう」

11月21日(日) 13時~16時

ネズミ大の哺乳類化石のピックアップ体験です。

事前申込制 詳しくは瑞浪市化石博物館のHPをご覧ください。
下記へお問い合わせください。



たち

瑞浪市化石博物館別館・特別展示室

〒509-6132岐阜県瑞浪市明世町山野内1-13 TEL (0572) 68-7710
休館日：毎週月曜日(月曜が祝祭日の場合はその翌日)



サルの化石～ヒトに近い哺乳動物～

京都大学^{れいちようらい}霊長類研究所では主にサルの化石の研究を行っています。なかでもニホンザルの化石は、全国200か所以上の場所からたくさん見つかっています。化石の形をよ～く見ると今いるニホンザルと昔いたニホンザルの違いを発見することもできます。



ニホンザル（頭骨）
山口県 後期更新世

スペシャル コラム 哺乳類化石を追い求めて ～哺乳類化石を求めて地底の彼方へ～

日本の約260万年前～数千年前の^{たいせきぶつ}堆積物からは非常に多く哺乳類化石が見つかっています。この時代の哺乳類化石は、主に^{どうくつ}洞窟内に見られる、岩と岩のすき間にたまった土から発見されます。

そこで、私たちは哺乳類の化石を探すために、まず洞窟の調査を行います。ヘルメットにライトをつけ、シャベルやハンマーを持って洞窟の中へ入っていく姿はまるで、^{たんけんか}探検家です。



洞窟内の化石の中には既に絶滅したナウマンゾウやニホンムカシハタネズミが含まれていることもあり、昔の動物たちが生きていた世界の謎を解き明かしていくことが私たちの役目なのです。

土の中に含まれている化石を取り出すためには、“ふるい”を使って土を洗い、残った土から小さいもので数mm以下の化石を取り出します。これは非常に大変な作業で、ガマン強さはもちろんのこと骨を愛する強い心がなければできません。この特別展期間中にも11月21日午後1時から4時に、小さな化石を見つける体験ができますので、是非参加してみてください。（西岡佑一郎）



スペシャル企画 ^{みずなみ ミ オ} ～瑞浪Mioちゃん～

瑞浪Mioちゃんは、瑞浪市の^{ぶんか}文化の啓発キャラクター、そして化石博物館のイメージキャラクターとしてこの秋に誕生しました。瑞浪市に住む化石が大好きな女の子です。化石の楽しさや瑞浪市の文化を伝えたり、イベントの告知をしたりを博物館だけでなく皆のアイドルとして萌キャラとして頑張っています。よろしくね！

【古哺乳類イラスト】中上野 太 HP: <http://offcgssp.exblog.jp/>
企画：西岡佑一郎（京都大学霊長類研究所）
リーフレット作成：西岡佑一郎、萩野慎太郎（京都大学霊長類研究所）、安藤佑介（瑞浪市化石博物館）
展示協力：伊藤 毅、井上智恵、大島彩乃、大平規子、岡田 渉、楓 達也、合田隆久、小林伸明、田中雄一郎、服部創紀